

CHANGE

2022年度職場諸要求(車両所関係)の業務委員会開催！！

報告シリーズ “第二弾”

会社の運用優先の体質が鮮明に！！「安全・確実な検査」はどこにいったのか？

12月20日、地本は2022年度職場改善要求(車両所関係)に関する申し入れについて、関西支社と業務委員会を開催し、新幹線の検査(仕業)について協議しました。

組合側の「停電時間に間に合わすため、スリ板取替を後回しにするなど仕業手順を逸脱した作業をやめること」の申し入れに対し、会社は「仕業検査手順の逸脱ではなく、必要に応じて適宜指示を行う」と回答しました。

組合側はさらに「後回しにするとスリ板取替後の通電テストができない」との指摘に、なんと会社は「その検査は仕業検査に入っていない」「乗務員が加圧したらわかる」と回答してきました。しかし、そんなことはどこにも書いてありません。すべての検査を行い完全な車両を出すことが仕業検査だと思っていたが、会社の姿勢はそうではないようです。

引き続き私たちは安全より運用優先の姿勢を許さず追及していきます！！

現状も把握せず、安全無視、これでは安全に働けない！！

また、組合側の「仕業検査中に手歯止めを撤去されたことがあった。重大な不安全行為であり、検査終了後に手歯止め撤去を徹底すること」の申し入れに対し、会社は「検査中は手歯止めを装着しており、転動防止措置は行っている」と回答しました。

組合側は「回答になっていない。仕業検査中に手歯止めを撤去されたことがあったのは確認されている」と指摘すると会社は慌てて「庫内はレベル(水平)がとってあるので手歯止めを外しても大丈夫」と回答してきました。

こんな不安全な回答はあるでしょうか？！

それなら庫内では手歯止めは要らないということになりますが、そうはなっていません。

私たちは安全に働ける職場環境のために会社を追及し、闘っていきます！！